

28年度 トリアス主要事業・課題について

1 社会福祉法人改革に対する取り組み

(1) 地域公益事業・地域への還元について

(1)地域包括ケアシステムの推進

高齢者が、住み慣れた地域で 生き生きと安心して暮らせるよう家族や地域全体で連携し取り組むシステム作りが、全国各地で取り組まれている。

トリアスでは社会貢献の一環として、トリアスに隣接している駐車場を活用し、地域の皆さんが望んでいるもの、必要としているものを地域の皆さんにお聞きしながら、その実現に向け 準備・計画している。

また、運営面では、今井整形外科やノイエスとの機能、連携を図る運営を考えている。

考えられる施設として、例えば

① ・トリアス施設内にある

甲府市地域包括支援センター、居宅事業所の整備

② ・地域の方々が集う 地域交流センターの機能や喫茶スペース
健康予防教室やリハビリ施設

③ ・地域に出向いてサービスが提供できる

訪問看護・リハなど

(2) 地域、ボランティアとの連携

地元自治会、民生委員、ボランティア等との密接な交流を図り、地元で行われるイベント活動に職員は積極的に参加し、交流を図る。

また、トリアス看護、介護職員が地域に出向き、地域住民の健康相談、予防事業に積極的に参加し、地域貢献に努める。

(3) 評議員の設置

今回の社会福祉法人改革で、29年4月迄に、評議員会を必置する。
役員的人数は最低 理事6名 評議員7名 監事2名の構成である
評議員の主な役割としては

- ・これまでの理事会牽制機関から議決機関になる

今後、評議委員会の設置に向けた準備を進めていく

(4) 経営計画の作成（社会福祉充実計画）

今回の法人改革で、強く求められているものに、「地域における公益的な取組」がある。

法人の健全経営を確保しつつ、新たな地域貢献の仕組みを行う事が求められている。

この地域貢献を実現するため 経営計画を立てる計画では、

- ① 現に行っている社会福祉事業・公益事業の充実
- ② 新規の社会福祉事業・公益事業の実施に関する法人の計画を作成する。

内容は

- ・事業の規模、内容
- ・事業を行う区域
- ・社会福祉に充てる金額
- ・実施期間 等
- ・介護保険収入、人件費などの支出
- 車輦や施設整備
- ・修繕計画など

2 収入の確保・健全経営の取り組み

○ 収入確保の取組み

- ・長期施設・短期施設・デイサービス利用者目標利用率の確保

対策としては、

- ・ケアマネ事業者への営業訪問
- ・ホームページの充実や地域へのトリアス便り、チラシ配布

また、収入確保として、最低でもデイサービス利用者を2名、ショート2名増を図る。

「デイサービスの利用者確保策」としては

- ・入浴施設の補修や、ゆったりとした休憩場所の提供 利用者さんの

カバン置き場所確保など、きめ細かいサービス提供

- ・利用者増の方策として体験利用依頼があったら、受け入れる
時間の追加利用、臨時利用の対応
登録人数 80 人を目標

3 優秀な職員の確保

(1) キャリアアップの取り組み

トリアスでは 一人ひとりの能力が最大限に発揮できるよう能力を適正に評価し、公正で透明性の高いキャリアアッププランを作成していく。

この計画は、

職員の能力要件を示し、評価基準を明示、効果的に人材育成を行う。

キャリアプランを実行することで、職員のモチベーションが高まり、優秀な介護職員の確保に繋げる

- ・人事評価制度を同時に行う。

(2) 職員研修の充実

職員の資質、専門技術の向上を図るため、毎月、研修会を行う。

特に、施設内研修会では、職員が講師を務め経験を積ませる。

また、介護福祉士、介護福祉支援員などの資格取得に対し、研修に参加しやすい体制づくりに努める

4 一人ひとりに適した利用者サービスへの提供

介護施設は サービスの競争時代にあり、特にディサービスは競争が激しい。

今後は、特に、利用者のニーズに合ったサービス提供が重要になる。また、入居者に対し、礼節、真心を持って、入所者の心に沿った介護を心掛け、ケアプランに沿ってケアを行う。

(1)事故防止、事故の原因、再発防止の強化

転倒防止、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染予防策
事故防止委員会での議論を通じ、職員のヒヤリハット、クレームの対処など、
また、緊急連絡の際にメール送付のシステムや事故を未然に防止する対策
の検討。

(2)一人ひとりに適したサービスの提供

- ・利用者さんの生活歴等を踏まえた その人らしさを大切にした生活支援
- ・他職種との連携を密にして、利用者の望む生活を追求していく
- ・礼節、真心をこめて、質の高いサービス提供を目指していく

5 施設・機械浴槽等の整備

建設後 17 年が経過し、施設の老朽化が進み修繕費が嵩んでいる。

今後は、日常の保守管理が重要である

また、日頃から防火、防災、自然災害などに対応した、危機管理体制も重要である。

介護機器の整備では、2 階機械浴槽の更新や 14 年経過した軽送迎車両の更新や、厨房のオープン器具の整備を図る。

更に、施設の雨漏りや LED 照明への交換や、修繕箇所を総点検し、年次計画を立て、計画的な整備を図っていく。

主な整備内容

2 階機械浴槽の更新		650 万円
厨房 オープンの整備	1 台	120 万円
送迎車輛 軽 車椅子対応	1 台	170 万円
照明 LED 化 3 年計画		300 万円
修繕費(枠)		610 万円
計		1850 万円